

3月21日：VN 指数は停滞ムード (VN-Index -0.15%)

- 本日のVN 指数も昨日と同様に小幅高で開始した。しかし、警戒感は依然として強く、上昇を伸ばすことなく軟調に推移した。
- FPT が主にけん引する科学技術セクターが指数の引き上げを試みたものの、小売、銀行といった主要セクターの下落がそれを相殺した。
- 後場でも前場と同様に低い出来高の穏やかな相場が続いた。指数は一度前日終値付近まで接近したものの、それを上回る買いが入らずに下落圏で取引を終えた。
- 銀行、食品・飲料セクターの下落が全体に広まって軟調な相場を形成した。
- 195 銘柄が上昇、244 銘柄が下落、89 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は 12.9%減の 16.9 兆ドンとなった。

VN30 指数は横ばい (VN-30 -0.05%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、10 銘柄が上昇、16 銘柄が下落、4 銘柄が変わらずとなった。
- TPB (-2.96%)、LPB (-2.11%)が最大の下落銘柄だった。
- 一方、VIC (+2.91%)、FPT (+2.40%)、VHM (+1.90%)の上昇が目立った。

セクター・個別株の動き

- 2025年1~2月期、MWG社(+0.50%)の売上高は24.5兆ドンで、前年同期比13.5%増、年間売上高計画150兆ドンの16%を達成した。同社は今月からエアコン製品の販売のピークが来ると予想している。
- CTD(+0.12%)は、5,000億ドン相当のベトナム国立大学開発プロジェクトのオークションに勝利し、建設を開始した。同社はこのプロジェクトのために世界銀行から融資を受けており、同行が定めるESG要件を遵守している。
- 外国人投資家は9,500億ドンを売り越した。VND(+1.32%)、SHB(0.00%)が売り越しのトップとなった。最も買い越された銘柄はVCI(-0.26%)だった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd. (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。